平成22年度第3四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成22年4月1日から平成22年12月31日まで

資料5-2

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。金額がないものは(-)、金額はあるが単位未満のものは(0)で表示している。
 ◎*を付した科目について:会計規程は、理事長の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができることから、本規定に基づき予算の流用を行った。
 ◎想定進捗率について:年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	346万台	480万台	72%	73%	339万台	7万台	102%
引取時預託(後付預託を除く)	9万台	12万台	78%	75%	10万台	△0万台	95%
合計(A)	355万台	492万台	72%	73%	349万台	7万台	102%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	12万台	21万台	57%	75%	16万台	△4万台	77%
預託台数合計(A)+(B)	367万台	513万台	72%	73%	364万台	3万台	101%

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)

	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,680円	6,600円	80円	6,610円	70円
エアバッグ類	2,500円	2,540円	△40円	2,510円	△10円
フロン類	2,060円	2,060円	0円	2,060円	0円
合計	11,240円	11,200円	40円	11,180円	60円

(3) 品目別の装備率

	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	95%	95%	0	95%	0
フロン類	98%	98%	0	97%	1

(4) 金額

	平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	39,606百万円	54,680百万円	72%	74%	38,687百万円	919百万円	102%

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	346万台	480万台	72%	73%	339万台	7万台	102%
引取時預託	9万台	12万台	78%	75%	10万台	△0万台	95%
合計	355万台	492万台	72%	73%	349万台	7万台	102%

(2) 金額

	平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	817百万円	1,132百万円	72%	73%	802百万円	15百万円	102%

預託金預り収入計

金額

	平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	40,423百万円	55,811百万円	72%	74%	39,489百万円	934百万円	102%

②特定資産運用収入—再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

	平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
	8,387百万円	11,176百万円	75%	75%	7,804百万円	583百万円	107%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数の第3四半期までの想定進捗率は環境対応車普及促進事業効果及び前年度までの預託実績を参考に73%としていた。実績も72%となり、概ね予算想定のとおりとなった。ただし、環境対応車普及促進事業終了の想定以上の影響から第3四半期単期の新車購入時預託台数実績は対予算比で94%の92万台となった。
 ○引取時預託台数(後付預託を除く)の第3四半期までの想定進捗率は前年度預託実績等を参考に75%としていたが、実績は78%となり、台数実績は予算想定を上回った。
 ○各品目の平均単価及び装備率は概ね予算想定のとおり。
 以上を要因として、再資源化等預託金預り収入の進捗率は第3四半期までの想定進捗率74%に対し、実績72%となった。

《新車購入時預託台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成22年度	116万台	138万台	92万台	—	346万台
平成21年度	96万台	122万台	121万台	150万台	489万台

【前年度同期実績との比較】

○新車購入時預託
 新車購入時預託台数及びASR平均単価は、前年度同期実績を上回った。
 ○引取時預託(後付預託を除く)
 引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている。すなわち、引取時預託台数の比率(平成22年度第3四半期までの実績 3.2%、平成21年度第3四半期までの実績 3.4%)が低下している。そのため、引取時預託台数(後付預託を除く)は前年度同期実績を下回った。
 以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は前年度同期実績を上回った。

《品目別預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)》

	平成22年度3Q決算		平成22年度年度予算		平成21年度3Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,710円	5,770円	6,620円	5,860円	6,630円	5,810円
エアバッグ類	2,500円	2,150円	2,550円	2,110円	2,510円	2,080円
フロン類	2,060円	2,110円	2,050円	2,100円	2,060円	2,100円
合計	11,270円	10,030円	11,220円	10,070円	11,200円	9,990円

《品目別預託方法別の装備率》

	平成22年度3Q決算		平成22年度年度予算		平成21年度3Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	30%	97%	30%	97%	29%
フロン類	99%	33%	99%	31%	99%	32%

【予算との比較】

預託台数合計が概ね第3四半期までの予算想定のとおりとなったため、情報管理預託金預り収入の進捗率は72%となり、概ね第3四半期までの想定進捗率73%のとおりとなった。

【前年度同期実績との比較】

預託台数合計が前年度実績を上回ったことにより、情報管理預託金預り収入は前年度同期実績を上回った。

【予算との比較】

予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

保有債券残高の積み上がりにより、前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成22年度3Q末残高	平成21年度3Q末残高
8,181億円	7,955億円

2. 事業活動支出

① 預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1) 品目別の払渡台数

	平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	308万台	395万台	78%	77%	276万台	32万台	111%
エアバッグ類	157万台	229万台	69%	76%	122万台	35万台	129%
フロン類	256万台	346万台	74%	79%	228万台	27万台	112%

(2) 品目別の平均単価

	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,190円	6,200円	△10円	6,190円	0円
エアバッグ類	2,060円	2,030円	30円	2,020円	40円
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円

(3) 金額

決算(a)	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
27,626百万円	36,355百万円	76%	77%	24,298百万円	3,327百万円	114%

《引取業者引取台数実績》

平成22年度3Q				平成21年度 3Q決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
290万台	395万台	73%	76%	289万台	1万台	100%

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成22年度 3Q決算			3Qまでの 予算想定	平成21年度 3Q決算
	年度予算	3Qまでの 予算想定	3Qまでの 予算想定		
エアバッグ類	51%	59%	57%	43%	
フロン類	83%	87%	86%	82%	

【予算との比較】

○引取業者引取台数の第3四半期までの想定進捗率は、前年度実績等を参考に76%としていたが、実績は73%となり、予算想定を下回った。
 ○ASR払渡台数の第3四半期までの想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に77%としていた。実績は78%となり、概ね予算想定のとおりとなった。
 ○エアバッグ類及びフロン類の払渡台数の第3四半期までの想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考にそれぞれエアバッグ類76%、フロン類79%としていたが、引取業者引取台数における装備率が第3四半期までの予算想定(エアバッグ類57%、フロン類86%)を下回ったことにより、第3四半期までの実績はエアバッグ類69%、フロン類74%となり、エアバッグ類及びフロン類の払渡台数は予算想定を下回った。
 ○各品目の平均単価は概ね予算想定のとおりとなった。
 以上を要因として、再資源化等預託金払渡支出の進捗率は76%となり、概ね第3四半期までの想定進捗率77%のとおりとなった。

【前年度同期実績との比較】

各品目の払渡台数が前年度同期実績を上回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

情報管理預託金払渡支出

(1) 台数

決算(a)	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
312万台	395万台	79%	77%	285万台	27万台	109%

(2) 金額

決算(a)	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
553百万円	706百万円	78%	77%	452百万円	102百万円	122%

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成22年度3Q				平成21年度3Q	
	決算		年度予算		決算	
	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率
130円	164万台	53%	203万台	51%	204万台	72%
230円	148万台	47%	192万台	49%	81万台	28%
合計	312万台	100%	395万台	100%	285万台	100%

【予算との比較】

○情報管理料金払渡台数の第3四半期までの想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に77%としていたが、実績は79%となり予算想定を上回った。
 ○単価230円の払渡台数の比率が予算想定を下回った。
 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出の進捗率は78%となり、概ね第3四半期までの想定進捗率77%のとおりとなった。

【前年度同期実績との比較】

○払渡台数は前年度同期実績を上回った。
 ○単価230円の払渡台数の比率が前年度同期実績を上回った。
 以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

決算(a)	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
1,303百万円	1,703百万円	76%	77%	833百万円	470百万円	156%

【予算との比較】

概ね予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

平成22年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成21年度よりも高く、また、利息を付す払渡台数が前年度同期実績を上回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%

(※) 利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払渡支出計

金額

決算(a)	平成22年度3Q			平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
29,482百万円	38,764百万円	76%	77%	25,583百万円	3,898百万円	115%

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成22年度3Q				平成21年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
69万台	80万台	86%	75%	58万台	11万台	119%

(2)平均単価

平成22年度3Q			平成21年度3Q	決算対前年度差異
決算(a)	年度予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)
11,120円	11,120円	0円	10,700円	420円

(3)金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
7,653百万円	8,893百万円	86%	75%	6,185百万円	1,468百万円	124%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
332百万円	415百万円	80%	75%	186百万円	145百万円	178%

【予算との比較】

○輸出返還台数の第3四半期までの想定進捗率は、前年度輸出返還実績等を参考に75%としていたが、ロシア向け中古車輸出の回復等の影響により実績は86%となり予算想定を上回った。
○輸出返還平均単価は予算想定のとおりとなった。
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出は第3四半期までの想定進捗率75%を上回る86%となった。

【前年度同期実績との比較】

○輸出返還台数が前年度同期実績を上回った。
○輸出返還平均単価は前年度同期実績を上回った。
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を上回った。

《輸出返還台数実績》

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成22年度	22万台	23万台	24万台	—	69万台
平成21年度	22万台	17万台	19万台	20万台	78万台

【予算との比較】

○輸出返還台数が予算想定を上回ったことにより、利息を付す輸出返還台数は予算想定を上回った。
○利息の平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出は第3四半期までの想定進捗率75%を上回る80%となった。

《預託年度別の輸出返還台数実績》

預託年度	平成22年度3Q		
	決算(a)	年度予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	8万台	14万台	56%
平成17年度	33万台	39万台	84%
平成18年度	22万台	21万台	102%
平成19年度	4.6万台	3.6万台	130%
平成20年度	1.0万台	1.0万台	98%
平成21年度	0.8万台	1.0万台	83%
平成22年度	0.3万台	0.4万台	78%
合計	69万台	80万台	86%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績》

利息単価	平成22年度3Q		
	決算(a)	年度予算(b)	(a)/(b)
利息単価	484円	521円	93%

【前年度同期実績との比較】

平成22年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成21年度よりも高く、また、利息を付す輸出返還台数が前年度同期実績を上回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率	平成21年度利率
0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%	1.304%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金輸出返還支出計

金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
7,985百万円	9,308百万円	86%	75%	6,372百万円	1,613百万円	125%

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)(*)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
252百万円	252百万円	100%	100%	184百万円	68百万円	137%

当初予算(d)	予算進捗率(a)/(b)
264百万円	95%

(*)会計規程は、理事長の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)(*)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
12百万円	12百万円	100%	100%	6百万円	6百万円	191%

当初予算(d)	-
---------	---

(*)会計規程は、理事長の決裁を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。

他会計への繰入金支出計

金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
264百万円	264百万円	100%	100%	190百万円	74百万円	139%

《出えん等実績》

出えん等先	出えん等額(※)	
	平成22年度3Q	平成21年度3Q
資金管理人	54百万円	-
指定再資源化機関	150百万円	160百万円
情報管理センター	60百万円	30百万円
合計	264百万円	190百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

(なお、「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」の当初予算264百万円のうち、12百万円を「未払再資源化預託金等利息支払支出」の予算へ流用した。)

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
37,640百万円	48,312百万円	78%	77%	32,596百万円	5,044百万円	115%

【予算との比較】
概ね予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】
事業活動支出が前年度同期実績を上回ったため、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は、前年度同期実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成22年度3Q				平成21年度3Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率		(a)-(c)	(a)/(c)
50,209百万円	67,825百万円	74%	79%	45,484百万円	4,724百万円	110%

【予算との比較】
主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が予算想定を下回ったため、特定資産取得支出の進捗率は第3四半期までの想定進捗率79%を下回る74%となった。

【前年度同期実績との比較】
主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が前年度同期実績を上回ったため、特定資産取得支出は前年度同期実績を上回った。